



杉谷 洋一 議員

# 大山チャンネルの充実は？

町長

## 民間の力も活用する



大山チャンネルの編集作業

【杉谷】大山チャンネルは地域コミュニティや地域間の情報格差解消を果たし、住民の生活の情報伝達や交流などに大きな役割を担っている。

さらなる充実は。

【町長】町内交流のツールとして町民の気持ちの一つにつなげる効果があると確信している。また、光ケーブルにより高速インターネットの安定的な接続提供を可能とした。

【杉谷】大山チャンネルを専門業者に委託し、内容を充実して全国発

信を行つては。

【町長】地方創生の今後の展開もあり、民間の力も活用して取り組みができればと考える。

【杉谷】内容充実のために、各集落や個人からのビデオレターコンクールを実施しては。

【町長】参考にした。

【杉谷】役場の情報を動画放送にしては。

【町長】各課の事業説明など、できるところから取り組んでみたい。

【杉谷】視聴者のモニター制度の導入は。

【町長】さまざまな方法で検討したい。

# 地方創生の戦略は？

町長

## 多くのアイデアを生かす

【杉谷】人口減少対策は町の発展の根幹であり、住宅団地造成や企業誘致、子育て・教育環境整備などが急務である。

本町の特性を生かし、元気で活力と魅力がある「まち・ひと・しごと」の地方創生」に対する総合戦略の基本方針は。

【町長】若手職員も参加している大山未来会議やまちづくり地区会議・地域自主組織などの提言を取り入れた基本戦略の策定を進める。

【杉谷】未来会議の提言にあった農地を利用した「野菜テーマパーク構想」は全国的に珍

しいアイデアである。

子どもたちに野菜の成長過程を勉強する場の提供や野菜販売による町の活性化は。

【町長】多くのアイデアを地方創生プランに生かしたい。

【杉谷】未来会議アド

バイザーの山崎亮氏は日本のコミュニティデザイナーとして活躍され、多くの人脈があり、今後も協力を願っています。

【町長】本町のビジネス応援団として依頼したい。



地域創生に若者のアイデアを